

I 調査の概要

1 調査の趣旨

- (1) 学習指導要領に示されている目標及び内容に基づき、「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な知識・技能の定着状況とともに、思考力、表現力などの状況を把握する。
- (2) 児童生徒の生活や学習に関する意識や実態及び各学校における教科指導等の実態を把握する。
- (3) 各学校が全県的な結果と比較・分析することを通して、自校の課題を明確にするとともに、指導内容や指導方法の改善・充実を図る。
- (4) 調査結果を基に児童生徒の学習の到達度を明らかにし、県の教育行政施策に生かす。

2 調査対象

小学校第5学年，特別支援学校小学部第5学年
中学校第2学年，特別支援学校中学部第2学年

3 実施期日

平成24年6月12日（火）

4 調査内容

- (1) 小学校第5学年，特別支援学校小学部第5学年
 - ① 国語，算数における前学年までの学習内容の定着状況調査
 - ② 生活と学習に関する意識・実態についての児童質問紙調査
 - ③ 指導方法等についての学校質問紙調査
- (2) 中学校第2学年，特別支援学校中学部第2学年
 - ① 国語，数学，英語における前学年までの学習内容の定着状況調査
 - ② 生活と学習に関する意識・実態についての生徒質問紙調査
 - ③ 指導方法等についての学校質問紙調査

5 調査実施学校数及び集計対象者数

学 年	学校数	集計対象者数
小学校第5学年，特別支援学校小学部第5学年	516校	25,362名
中学校第2学年，特別支援学校中学部第2学年	246校	22,544名

※ 集計対象者数…欠席した児童生徒，途中から入室し調査を始めたり，途中で退室し調査をやめたりした児童生徒，あるいは，放送設備の故障や聴覚障害等により音声問題に取り組むことができなかった児童生徒を調査対象者数から除いた数

6 語句の説明

語句	説明
正答	正しい答え
準正答	完全な誤りではなく、正答として考えられる答え
誤答	完全に誤った答え
通過率	正答または準正答であった児童生徒の割合
誤答率	誤答であった児童生徒の割合
無答率	無解答であった児童生徒の割合
通過率〇%以上	教科全体の設問数を100%として、その〇%以上の設問を通過しているということ（例えば、小学校算数「通過率60%以上」とは、25問中15問以上通過したということである。）
平均通過率	設問ごとの通過率を領域や教科全体等で平均した割合
通過設問数	児童生徒が各教科で通過した設問数
領域	学習指導要領に示されている各教科における指導内容の区分
評価の観点	指導要録の「指導に関する記録」における観点別学習状況の評価の観点